

柘植地域

# まちづくりだより

第279号

## 『卒園式』2年連続・・・ 『卒業式』2年連続・・・

昨年引き続き、本年もコロナ対応を余儀無くされ、柘植地区の3つの学校に於いても、『卒業式』『卒園式』は来賓・部外者は一切入れず、当該学年のみにて、挙行されました。▼柘植中学校は三月十一日、柘植小学校が三月十八日、柘植保育園の三月二十四日を以って卒業生が新たな学校へ巣立って行きました。「(保育園の卒・入園式の模様は次号4月28日発行分に掲載します)」

学生時代・学園時代を、「新型コロナ」蔓延下で過ごした2年間、毎日続くマスク生活・数々の制約の中、在学中の2/3をコロナ対応で明け暮れ、何処に於いても、大変な学生生活であったと思われれます。此の時代に遭遇したとは云え、世界中の学生諸君は、様々な学校行事が中止と為り、本来の機会が喪失された事、残念至極です。世界が抱える難題「人類はウイルスとの闘い」まさに其の時点に生きた事で、先端医学を志し、人類を救う若者が、此処柘植地区から生まれる事を祈念する次第です。



発行日

2022(令和4)年4月1日(金)

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)  
〒五一九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三



柘植地域俳句コーナー  
翁寺

枝垂桜に

いざなはれ

小川 秀子

柘植地域・名所案内板「除幕式」

3月21日(春分の日) JR柘植駅前にて、『柘植駅から歩いて行ける柘植の郷・主要名所案内』と題した「観光看板」の設置「除幕式」が行われました。お披露目当日は柘植まち協会会長・副会長・顧問・鉄道OB会等々の面々が参集しました。名所には霊山・旗山・余野園地・芭蕉公園・萬壽寺・横光公園・跳ね釣瓶の庭・積植の山口・頓宮跡・都美恵神社・徳永寺・柘植の鉄道遺産・お食事処が掲載されています。



【ジビエ料理教室】を開催

3月19日(土) 柘植地区市民センターにて「ジビエ料理」の食材(鹿肉ミンチ・猪肉スライス)と調味料等が参加者に提供され、家庭に持ち帰って調理して貰うという試みが開催されました。当日は14名が参加。三重県農商課が刊行したジビエ料理レシピ冊子の中から、ハンバーグ・猪鍋等のレシピコピーも配布され、家で楽しむジビエ料理として紹介されました。(健康福祉部会・増岡部会長にて企画開催)



サルどこネットワーク会議・開催

3月23日(水)、生活環境部会活動の一環として「サル」の被害を食い止める為「サルどこネットワーク会議」が柘植地区市民センターにて開催されました。

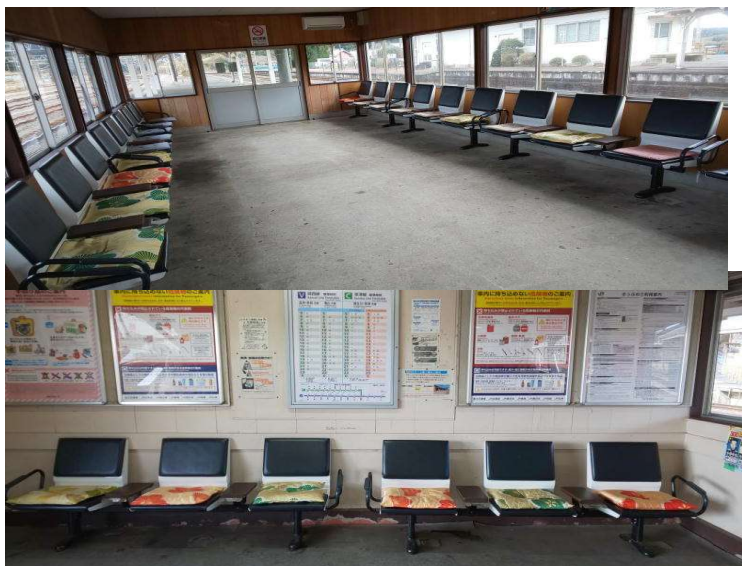
当日は現地調査の後、対策会議が開催され、講師として兵庫県立大学・山端教授、三重県農業研究所・鬼頭主任研究員・保原研究員、NPO法人サルどこネットワーク・六波羅氏、伊賀市役所 農林振興課鳥獣対策係・渡邊係長、堀田部会長、対策メンバー等、17名が出席。▼特に被害が顕著な岡鼻・小林地区等に於ける「サル追い払い方策」が主題。チラシ広報の配布、研修会開催等を協議しました。次回は、5月13(金)に再調査・パトロール予定、繋がりを広め参加依頼/サルどこネットワークのライン参加者人数を増やす/情報の発信を広め、多くの方々に関心を持って貰う等を申し合わせた次第です。



JR柘植駅の『待合いコーナー』  
に『座布団』寄贈戴きました!

▼小林区の辻本幸子さんから、御自宅で作られた座布団(15枚)を寄贈戴き「笑みの会」のメンバー数名で、ゴム紐を付けたものが完成。此の度、JR柘植駅構内の2箇所に設置されました。

設置場所は、改札手前の「待合いコーナー」及び「待合い室」へ2番ホームと3番ホームの間)の椅子に取り付けて有り、寒冷期の束の間の暖として寄贈された次第です。  
(宮島正子さん談)



『よみがえれ公園のつつじ』

余野公園管理協力会(菊地邦夫会長)は2月19日(土)に、ツツジ・桜の植栽と枯れ松の伐採等を実施しました。

今年も新型コロナウイルスの新たなオミクロン株が猛威をふるい始めていたため、この時期恒例の各種団体の協力を得ての、「余野公園芝焼き作業」は中止に至りました。余野公園の象徴である「山つつじ」の老齢化と共に、苔等による病原菌繁殖による劣化は否めません。

そこで「余野公園管理協力会」では、新たに「山つつじ・さくら」の新規植栽を計画しました。

当日は8時30分に菊地会長から参加者(20名)に植栽の趣旨を説明し作業に掛かりました。公園の寒風のなかでスコップ・鍬等で穴を掘り腐植土を混ぜながら30本の「山つつじ」を植栽、同時に「伊賀市さくら」から配布された「大山桜」と「枝垂桜」10本の植栽も実施しました。全てが定着すれば、さらに立派に誇れる「余野公園」となるものと思えます。

また、公園管理棟の上に伸長した松の枝の伐採も実施しましたが、公園内の松も「松くい虫」等により、かなりの劣化が見受けられ、こちらの方の対処も続いているところでもあります。【清水一利】



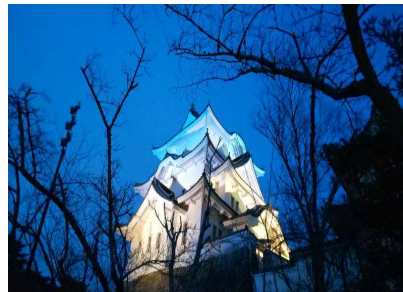
伊賀上野城「ウクライナに寄り添って」国旗と同じ青と黄色にライトアップ

ロシア軍の「軍事侵略」に依り、苦境に立たされて居るウクライナに寄り添う意思を示すべく伊賀市は、中心部に在る伊賀上野城をウクライナ国旗と同色の青と黄色にライトアップして居ます。

ライトアップの狙いについて伊賀市は、困難な状況にあるウクライナに寄り添うと共にロシアに依る軍事侵攻に対し、抗議の意思を示す為としています。



又、伊賀市は市役所1階に募金箱を置き、ウクライナ国民への人道支援に活用する為「義援金」の受付も行っていきます。



★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

【春宵一刻直千金】へしゅんしょういつこくあたせいせんきん『蘇軾・春夜詩』由り・春の夜(よい)は、趣が深く、其のひとときは、値千金の値打ちが有る。と謳われた春の宵、春のひと時、皆様は如何お過ごしでしょうか。

▼ワシントンD.C.のポトマック河畔の桜並木「上掲」は、今や桜の世界的な名所ですが、明治45年「大正元年」に日米友好の証として当時の東京市(尾崎行雄市長)から、兵庫は伊丹育ちのソメイヨシノ・3千本を海路で寄贈してから、110年が経過。

▼「全米桜祭り」へ3月最終土曜日(2週間開催)は、毎年70万人以上の人々が訪れる「春の一大イベント」。祭りの最中には寿司や日本酒に関する講義、アニメ・写真等の展示、落語等の文化公演、着物のファッションショーなどの多彩な催しが繰り広げられ、人気のスミソニアン凧揚げ大会も行われ、日米親善の歴史を紡いでいます。

▼『はかなさを他にも云はじ 桜花 咲きては散りぬ あはれ世の中』(徳大寺 実定)新古今和歌集・・・はかなさを他には例えようも無い桜の花。咲いては散って仕舞う ああ人の世よ・・・人生の儚さを映す桜花。【さまざまなこと思い出す 桜かな】(松尾 芭蕉) 季節は巡り春爛漫(清水)